

## 健康診査・検診

健康診査・検診に関するお問い合わせは  
 今市保健福祉センター ☎(21)2756  
 日光総合支所健康福祉課 ☎(54)1110  
 藤原保健センター ☎(76)1213  
 足尾総合支所健康福祉課 ☎(93)3114  
 栗山保健センター ☎(97)1141

## 元気予報



原稿：今市医師団

### ＊乳幼児健康診査・予防接種＊

内容	対象地域(地区)	とき	ところ	受付時間
4か月児健診	今市・塩野室	20日(水)	今市保健福祉センター	午後1時～1時30分
	藤原地域	25日(月)	藤原保健センター	午後1時30分～2時
	日光地域	27日(水)	日光福祉保健センター	午後1時～1時15分
	豊岡・落合・大沢	28日(木)		
8か月児健診	今市・塩野室	14日(木)	今市保健福祉センター	午後1時～1時30分
	豊岡・落合・大沢	21日(木)		
	日光地域	28日(木)	日光福祉保健センター	午後1時～1時15分
1歳6か月児健診	今市・塩野室	13日(水)	今市保健福祉センター	午後1時～1時30分
	足尾地域	19日(火)	銅やまなみ館	午後1時10分～1時30分
	豊岡・落合・大沢	22日(金)	今市保健福祉センター	午後1時～1時30分
	日光地域	6日(水)	日光福祉保健センター	午後1時～1時15分
3歳児健診	足尾地域	19日(火)	銅やまなみ館	午後1時10分～1時30分
	今市・塩野室	27日(水)	今市保健福祉センター	午後1時～1時30分
	藤原地域	28日(木)	藤原保健センター	午後1時30分～2時
	豊岡・落合・大沢	29日(金)		
2歳児歯科健診	今市地域全地区	7日(木)	今市保健福祉センター	午後1時～1時30分
BCG接種	今市地域	18日(月)	今市保健福祉センター	午後2時～2時50分
	藤原地域		藤原保健センター	午後1時30分～2時

各健診の対象児は、受診する月に対象年齢に達した乳幼児です。どの会場でも受診できますが、できるだけお住まいの地域の会場で受診してください。  
 BCG接種(母子健康手帳持参)…6か月未満の乳幼児が対象です。なお、副じん皮質ホルモン剤を使用している場合、事前にかかりつけの医師に相談してください。

### ＊乳幼児相談＊

内容	対象地域(地区)	とき	ところ	受付時間
12か月児相談	日光地域	12日(火)	日光福祉保健センター	午前9時30分～9時45分
	藤原地域		藤原保健センター	午後1時30分～2時
	今市地域全地区	28日(木)	今市保健福祉センター	午前9時～10時
乳幼児相談	藤原地域	12日(火)	藤原保健センター	午後1時30分～2時
すくすく赤ちゃん相談	日光地域	12日(火)	日光福祉保健センター	午前10時～11時30分
親子の健康相談	今市地区	1日(金)	今市保健福祉センター	午前9時～11時
	豊岡地区		豊岡支所	
	落合地区	8日(金)	落合公民館	午前9時30分～11時
	大沢地区		大沢公民館	
	塩野室地区		塩野室支所	

### ＊成人健康相談＊

内容	とき	ところ	受付時間
成人総合相談	4日(月)	今市保健福祉センター	午前9時30分～11時30分
	毎週月曜日(祝日を除く)	藤原保健センター	
	5日(火)	藤原高齢者福祉センター	
成人栄養相談	4日(月)	藤原保健センター	午前9時30分～11時30分
	20日(水) 要予約	今市保健福祉センター	午前9時～正午

### 2月の休日当番医

**3日(日)**  
 ⑤獨協医大日光医療センター ☎76-1515  
 ④湯澤歯科医院 ☎21-0113

**10日(日)**  
 ⑤川上病院 ☎22-2311  
 ④沼尾デンタルクリニック ☎22-3030

**11日(月)**  
 ⑤日光市民病院 ☎50-1188  
 ④木村歯科医院 ☎21-8182

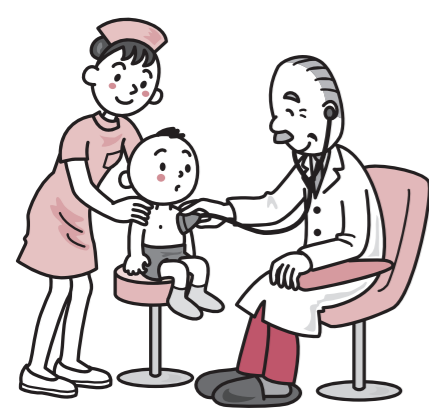
**17日(日)**  
 ⑤森病院 ☎22-1024  
 ④荒神橋のだ歯科医院 ☎22-8211

**24日(日)**  
 ⑤今市病院 ☎22-2200  
 ④森田歯科医院 ☎30-3113

※⑤は医科、④は歯科の休日当番医  
 診療時間  
 ⑤:午前8時～翌日午前8時  
 ④:午前10時～午後4時

### 休日急患こども診療所

ところ 今市保健福祉センター  
 診療日 日曜日・祝日・振替休日  
 診療科目 小児科  
 受付時間 午前9時～11時30分  
 午後2時～4時30分  
 午後7時～10時  
 電話番号 ☎30-7299(診療日のみ)



3千人が新たに透析を受ける状態になっており、糖尿病性壊疽<sup>えそ</sup>では毎年6千人が下肢の切断を余儀なくされています。さらに、近年問題視されている大血管障害で動脈硬化のため年間6万人が心筋梗塞を発症し、6万人弱が脳血管障害(脳卒中)を発症していると推計されています。

糖尿病になる原因は、血糖を上げる要因と血糖を下げるホルモン(インスリン)の働きのバランスが崩れ、血糖を上げる働きが強くなってしまったためです。体内で分泌できるインスリンには限度があり、その能力は年を取ることに低下します。運動することによってインスリンの働きを改善することができますが、それにも限界があります。そのため糖尿病治療では、血糖を上げる最大の要因となる食事などを制限し、摂取するカロリーを抑える必要があるのです。《次回へ続く》

※糖尿病性壊疽：末梢血管が閉塞し、足の指などが腐敗する症状

【糖尿病①】  
 最近、生活習慣病の話題が増えています。その中でも糖尿病は、患者数・患者予備軍が非常に多い病気です。平成14年度の厚生労働省の調査によると、「糖尿病と強く疑われる人」が74万人、「糖尿病の可能性が否定できない人」が88万人でした。実に、日本人の6人に1人が糖尿病になる可能性があるのです。この数は増加傾向にあり、平成22年には患者数が1,080万人になると予測されています。

年代別では、50歳代の20%、60歳代の30%、70歳代の40%弱の人に糖尿病の可能性があるとされており、誰もが年を取るとともに糖尿病になっておかしくない状況にあるといえます。

糖尿病の問題点は、正しい治療をしないと合併症が引き起こされることです。意識障害なども起こり得ますが、合併症で一番問題なのは、酸素や栄養が体に行き届かなくなる糖尿病性微小血管障害です。これにより発症する糖尿病性網膜症で毎年4千人が失明に近い状態になっています。また、糖尿病性腎症で毎年1万